

「ふるさと公園」のチョウ(2)

<シロチョウ科>



モンシロチョウ(オス)
白色の翅表に小さな黒斑がある。



(メス)
メスは黄色みが強い。



モンキチョウ(オス)
後翅の中央に淡色の斑紋がある。

(交尾)



(メス)

概ねメスは白色、たまに黄色。



キタキチョウ(メス)

(交尾)



(オス)越冬中に、日向ぼっこ。

<タテハチョウ亜科>



ヒオドシチョウ(表)



(裏)

山間部。鮮やかな橙色で、大きな黒斑がある。青色の縁取り。成虫で越冬する。



ルリタテハ(表)

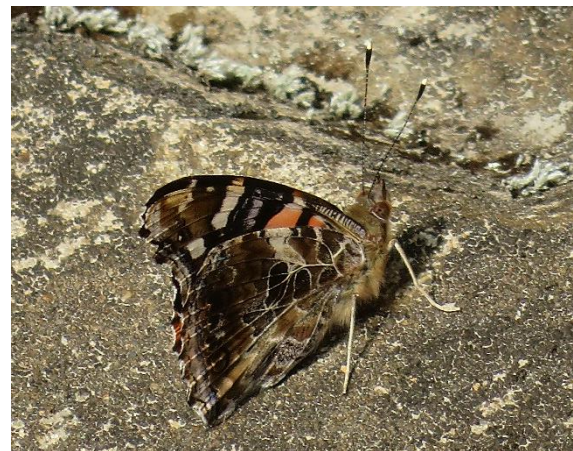


(裏)

山間部。青色の帯が鮮やか。成虫で越冬し、何度か羽化する。



アカタテハ(表)



(裏)

後翅表の地色は暗褐色で、赤色部は外縁のみ。暖地では成虫で越冬する。



ヒメアカタテハ(表)
後翅表は、全体が赤桃色。



(裏)
前3種に比べ明るい色で、目玉模様。



キタテハ(夏型 表)



(夏型 裏)



キタテハ(秋型 表)



(秋型 裏)

夏型は黄色みが強く、秋型はオレンジ色。翅先は、夏型より秋型の方が尖る。
成虫で越冬する。

<ジャノメチョウ亜科>ジャノメ模様



ヒメウラナミジャノメ(裏)

小型のジャノメチョウ。草地を跳ねるように飛ぶ。個体数は多い。



(表)後翅表に目玉模様は、通常2つ。



ヒメジャノメ(裏)

平野部に多い。コジャノメより少し大きい。



(表)後翅表に目玉模様はない。



コジャノメ(裏)

山間部。ヒメジャノメより小さい。減少傾向にある。



(表)後翅表に小さな目玉模様。



サトキマダラヒカゲ(裏)

黄白色～黄褐色の地色に複雑な模様がある。ヤマキマダラヒカゲと極めて類似。



(表)翅を広げて止まることはまれ。



ヒカゲチョウ(裏)

山間部。淡褐色に目玉模様が映える。



(表)翅を広げて止まることはまれ。



クロヒカゲ(裏)

ヒカゲチョウによく似るが、地色は黒褐色。

山間部。ヒカゲチョウよりさらに薄暗いところにいる。



ジャノメチョウ(裏)

平野部。中が青色の目玉模様がある。オスは濃褐色、メスは淡褐色。



(表)



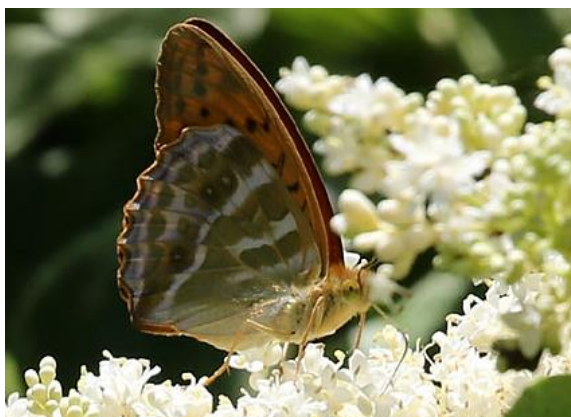
クロコノマチョウ (秋型 オス)

山間部。濃褐色で翅が大きい。成虫で越冬する。



(秋型 メス) 赤味がある。

<ドクチョウ亜科>ヒョウモン柄



ミドリヒョウモン(オス)

翅裏は、淡緑色に3本の白帯。オスの翅表は濃橙色。メスの翅表はやや緑がかる。



(メス 表)



メスグロヒョウモン(メス)
翅表・裏とも黒っぽい地色に白帯が1本。



(オス)
翅表・裏とも濃橙色で、別種かと思うほど。



ウラギンスジヒョウモン(裏)
絶滅危惧II類。翅裏に白帯(銀の筋)。



(メス 表)
オスの翅表は、濃橙色。



ツマグロヒョウモン(オス)
分布域が広がっている。
春から秋まで見られる。



(メス)



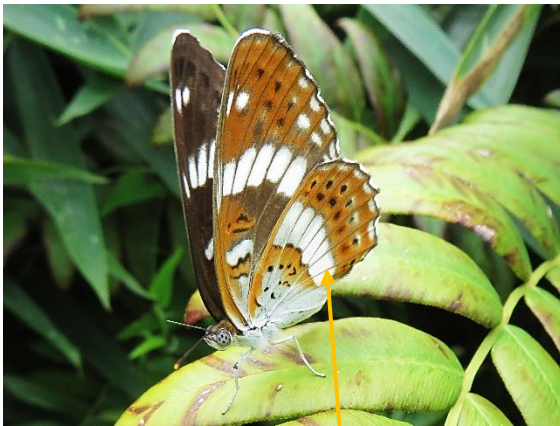


ツマグロヒョウモン(オス 表)

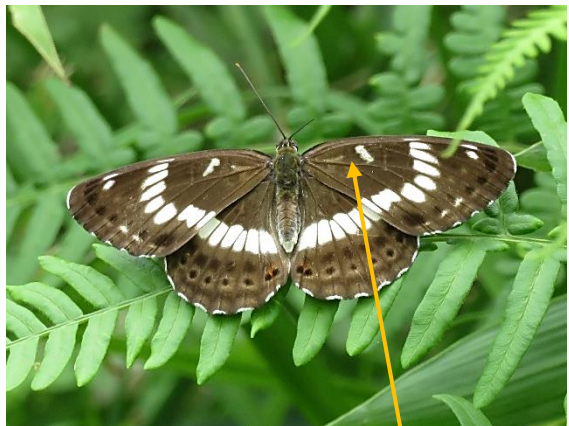


(メス 表)

<イチモンジチョウ亜科>



アサマイチモンジ(裏)
橙褐色の地色に1本の白帯が目立つ。



(表)
イチモンジチョウは、前翅に白斑がない。



コムスジ(裏)
ひらひらと緩やかに独特の飛び方をする。



(表)前翅の白帯は2つに分離する。



ホシミスジ(裏)

コムスジによく似るが、翅の根元に小さな黒斑がある。



(表)前翅の白帯が細かく分離する。



イシガケチョウ

特徴的な姿をしている。



スミナガシ

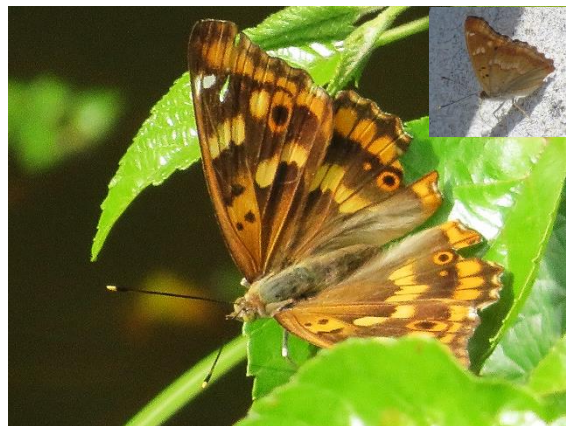
墨を流したように見えることから命名。

<コムラサキ亜科>



コムラサキ(オス)

翅表は瑠璃色に輝く。



(メス)

翅表は淡い茶褐色。



ゴマダラチョウ(裏)



(表)

黒色の地色に白斑が散らばる。眼は橙色、口吻は黄色。

<テングチョウ亜科>



テングチョウ(表)



(裏)

下唇鬚(かしんしゅ)が天狗の鼻のように突き出ている。成虫で越冬する。

<マダラチョウ亜科>



アサギマダラ(裏)



(表) 鱗粉がない。旅するチョウ。